

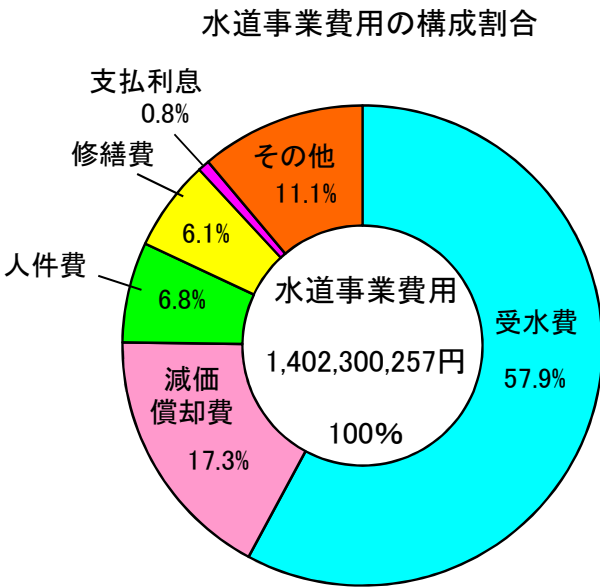
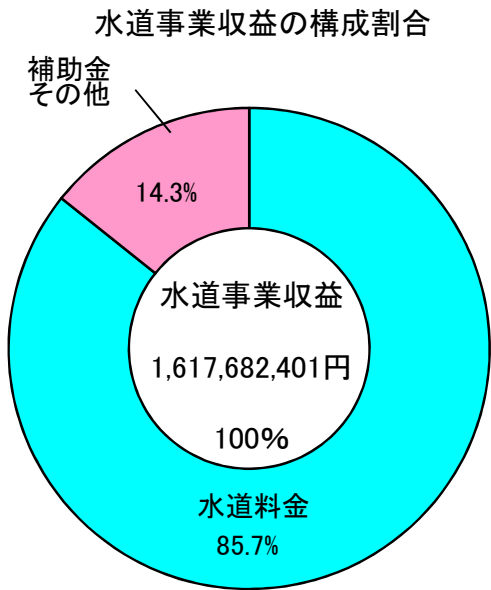
令和元年度 旭市水道事業会計決算の概要

※金額は、消費税及び地方消費税を含む。

1. 決算の内訳

《収益的収支》

収益的収支とは、水道施設の運転・管理など、事業を運営するための収支のことです。
具体的には、収入は主に水道料金で、支出は受水費（東総広域水道企業団から水道水を購入する費用）、減価償却費、人件費、修繕費などです。



(単位:円)

	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
水道事業収益	1,678,252,000	1,617,682,401	△ 60,569,599
営業収益	1,469,055,000	1,401,191,483	△ 67,863,517
(うち水道料金)	(1,456,228,000)	(1,387,083,883)	(△ 69,144,117)
営業外収益	209,197,000	216,490,918	7,293,918
水道事業費用	1,464,209,000	1,402,300,257	△ 61,908,743
営業費用	1,408,994,000	1,367,106,230	△ 41,887,770
(うち受水費)	(819,522,000)	(811,446,459)	(△ 8,075,541)
営業外費用	35,167,000	35,111,660	△ 55,340
特別損失	1,132,000	82,367	△ 1,049,633
予備費	18,916,000	0	△ 18,916,000

令和元年度の消費税差引後の純利益は、213,001,318円になりました。

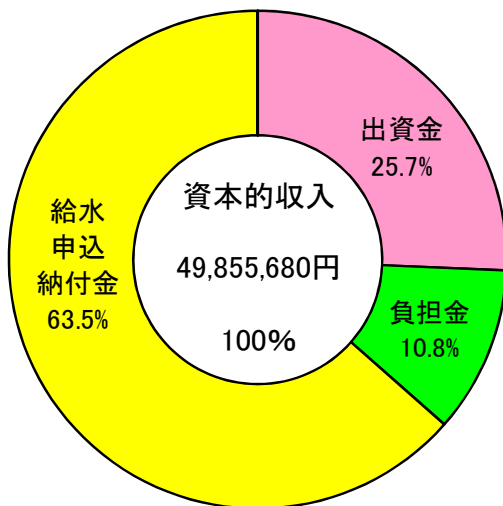
※特別損失とは、不納欠損処理額などです。

《資本的収支》

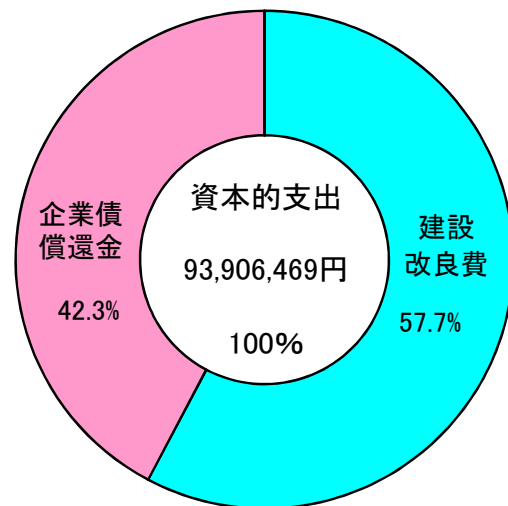
資本的収支とは、水道施設を建設・整備するための収支のことです。

具体的には、収入は出資金、負担金、給水申込納付金などで、支出は主に建設改良費（水道管の布設や布設替工事など）、企業債償還金（借入金の返済）です。

資本的収入の構成割合



資本的支出の構成割合



(単位:円)

	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減
資本的収入	67,331,000	49,855,680	△ 17,475,320
出資金	27,500,000	12,810,000	△ 14,690,000
負担金	14,732,000	5,390,600	△ 9,341,400
給水申込納付金	25,099,000	31,655,080	6,556,080
資本的支出	209,928,000	93,906,469	△ 116,021,531
建設改良費	150,243,000	54,222,200	△ 96,020,800
企業債償還金	39,685,000	39,684,269	△ 731
予備費	20,000,000		

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 44,050,789円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,250,720円、減債積立金 39,600,185円、過年度分損益勘定留保資金 2,199,884円で補てんしました。

※消費税及び地方消費税資本的収支調整額とは…資本的支出に係る消費税・地方消費税から資本的収入に係る消費税・地方消費税を差し引き、内部に留保されている資金です。

※減債積立金とは…企業債の償還に充てるための積立金です。

※損益勘定留保資金とは…減価償却費など、費用として計上されていますが、実際には現金支出を伴わないため、内部に留保されている資金です。

2. 業務量

項目	業務量
給水人口	57,412人
給水件数	20,827件
年間給水量	6,075,225立方メートル
年間有収水量	5,654,903立方メートル
有収率	93.1%
1日平均給水量	16,599立方メートル
主な建設改良事業	鍋木地区配水管布設替工事 江ヶ崎地区配水管布設工事 イ地区配水管布設工事 事業費 計 38,503千円